

公開シンポジウム「生活科学その独自性と課題」の開催

1. 主 催 日本学術会議健康・生活科学委員会生活科学分科会
後 援 (社)日本家政学会
2. 日 時 平成19年3月14日(水) 13:30~16:00
3. 場 所 日本学術会議講堂
4. 次 第

開催趣旨

生活科学(家政学)は、人間生活における人と環境との相互作用について人的・物的両面から研究し、生活の質の向上と人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。現代の社会が直面する様々な課題の中から、若者の自立、食育、衣食住環境の安全性、生活経営など、生活科学に関連する今日的課題を総合的に検討するために、新体制となった第20期日本学術会議健康・生活科学委員会の中に生活科学分科会が設立された。本シンポジウムは、「家政学」において蓄積された多くの知見に加え、関連する他の学問分野からの「人間」「人間の生活」に関する幅広い情報と視点を取り入れ、今後、生活科学がその独自性を発展させていくための課題と展望について、参加者とともに議論することを目的とする。同時に、日本学術会議と生活科学関連学協会との連携のあり方についても検討を進める起点とする。本シンポジウムにおける議論は、生活科学分科会としての今後の活動の基礎とするだけでなく、健康・生活科学委員会そして日本学術会議としての対外報告等にも資する。

13:30~13:35 開会挨拶

片山 倫子(東京家政大学家政学部服飾美術学科教授, 日本学術会議連携会員, 日本学術会議健康・生活科学委員会生活科学分科会委員長)

13:35~13:50 日本学術会議の新体制について

白澤 政和(大阪市立大学大学院生活科学研究科教授, 日本学術会議会員)

講演

オーガナイザー: 片山 倫子

13:50 ~ 14:10

- (1) 「生活科学 = 家政学として住居学の果たす役割」

沖田 富美子 (日本女子大学家政学部住居学科教授, 日本学術会議
連携会員)

14:10 ~ 14:30

- (2) 「日本人の食生活への生活科学 (家政学・食物領域) の貢献」

渋川 祥子 (聖徳大学人文学部教授, 日本学術会議連携会員)

14:30 ~ 14:45

- (3) 「生活科学特に食物学に期待すること」

春日 文子 (国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部室長, 日本学
術会議会員)

14:45 ~ 15:05

- (4) 「規制改革と生活経営学」

御船 美智子 (お茶の水女子大学生生活科学部, 日本学術会議連携会
員)

15:05 ~ 15:20

- (5) 「生活科学の独自性をいかに発揮するか」

白澤 政和 (大阪市立大学大学院生活科学研究所教授, 日本学術会議
会員)

15:20 ~ 15:55 質疑・応答

15:55 ~ 16:00 閉会挨拶

江澤 郁子 (戸板女子短期大学学長, 日本学術会議連携会員)